ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-2（STA.No.35-CL)	調査位置				北　緯	36 ° 34 ’ 51.0000 ”
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所 整備部整備第一課			調査期間	2010-09-02 ～ 2010-09-03	東　経	140 ° 00 ’ 29.0000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	123.06 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	9.45 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1					盛土(粘土)(CHBS)	淡灰～暗褐		軟い	0～0.30m間は砕石 0.30～1.10m間は黒ボクロームの混合土 1.10m以深は火山灰質粘性土		
	121.16	1.90	1.90								
2	120.96	0.20	2.10		黒ボク(Kb)	黒褐		軟い	旧表土		
	120.76	0.20	2.30		軽石(Pm)	黄褐		硬い	七本桜軽石，φ1～2mmの粒径		
					軽石(Pm)	赤褐			今市軽石，φ2～5mmの粒径 含水量が非常に多い		
	120.16	0.60	2.90		軽石(Pm)						
3					ローム(Lm)	褐		非常に軟い	含水量は少なく粘性中位～やや小さい 4.00m付近より硬くなる 4.30m付近より軽石粒を混入する		
4	118.36	1.80	4.70								
5	117.76	0.60	5.30		軽石(Pm)	黄褐		非常に軟い	φ1～3mmの粒径で多孔質構造を呈す 含水量が非常に多い 5.10付近まで軟いが以深は非常に軟い		09/02 5.25
6					ローム(Lm)	褐～青灰		非常に軟い	[5.60]含水量はやや少ない [6.00]粘性中位～やや小さい [6.40]全体に風化により粘土質となっている [6.80]7.00m以深青灰色を呈し硬い		
7	115.76	2.00	7.30								
8					粘土混じり砂礫(GS-C)	灰褐	中ぐらい	中位	φ20～40mm程度の円・亜円礫が主体 礫間は粘土と粒径不均一な砂にて充填されている 礫は風化して脆く砕けやすい 全体に孔壁の自立性高い		
9	113.61	2.15	9.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1		2	1
1.61	24	22		46	
2.15	1	1		2	2
2.46	18	13		31	
3.15	1			1	1
3.52	37			37	
4.15	1	1	2	4	4
4.45	11	9		30	
5.15	1			1	1
5.65	50			50	
6.15	2	2	2	6	6
6.45				30	
7.15	2	7	5	14	14
7.45				30	
8.15	6	4	4	14	14
8.45				30	
9.15	4	9	11	24	24
9.45				30	

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
				09/02
				09/03